

2023年度 自治体学会事業計画（案）

I 自治体学会川崎大会の開催

第37回大会を神奈川県川崎市で開催する。企画実施は、企画部会が行う。

期 日：2023年8月25日（金）、26日（土）

会 場：カルツかわさき（川崎市川崎区富士見1-1-4）

川崎市教育文化会館（川崎市川崎区富士見2-1-3）

テーマ：「神奈川・川崎から問う自治・地域の未来」

内 容：分科会、研究発表セッション、ポスターセッション、
総会、学会賞表彰式、参加者交流の場、エクスカージョン

特記事項

- ・25日に第36回全国自治体政策研究交流会議が川崎市主催で開催される。テーマは「スポーツ/SDGsによるまちづくり」
- ・25日に自治体学会の研究発表セッションを開催する。
研究発表セッション終了後、学会賞表彰式を行い、同会場で参加者交流の場を設ける。
- ・エクスカージョンは、26日（土）の学会終了後、及び27日（日）に実施する。

II 総会・評議員会・理事会・各部会等の開催

1 総会の開催

大会にあわせて、総会を開催する。

2 評議員会・理事会等の開催

理事会及び評議員会を適宜開催する。

学会事業実施のため、企画部会、編集部会、地域支援部会、研究支援部会、総務部会、学会賞委員会等を適宜開催する。

III 事業の実施

1 学会誌の発行

学会誌「自治体学」を年2回（37-1号、37-2号）発行し、会員全員及び関係機関等に配付する。

学会誌の編集は、編集部会が行う。

2 学会賞の授与

田村明まちづくり賞及び研究論文賞の募集を行い、優れた者を表彰する。あわせて、自治体学研究奨励賞も表彰する。選考は、学会賞委員会が行う。

3 研究活動への支援

会員から、研究論文及び研究ノートを募集し、投稿論文等について、査読者による査読結果をもとに、研究支援部会が、学会誌に掲載する研究論文、研究ノートを決定する。会員の研究成果を広く知ってもらうため、学会誌に掲載した研究論文・研究ノートを「J-STAGE」に掲載することを進める。

4 学会の活性化を目指した事業の実施

自治体学会講演会等を地域支援部会が中心となって実施する。

学会賞を受賞した“まちづくり活動”について、そのまちづくりを担う市民と連携し、現地を訪問し“まちづくり活動”を学ぶ事業を実施する。

LINE等のSNSを活用した活動についても検討・実施する。

会員の拡大を目指し、学会の魅力向上について検討する。併せて、大会のあり方についても検討する。

5 情報の提供、会員の交流促進

ホームページによる情報提供、メーリングリスト、会員名簿等を活用し、会員相互の交流に努める。ホームページのあり方や情報発信のあり方について検討する。

6 まちづくり活動への支援

(1) 地域活動の支援

会員が主体となって実施する地域活動のうちフォーラム等の開催及びその報告書の作成を支援する。

(2) 自治体学会の設立趣旨に適合する事業への名義後援

7 コロナ禍後の学会活動の検討

コロナ禍後の社会における様々な変化を見据え、学会運営及び大会運営のあり方等を検討する。学会の活性化に向けて、リモート会議システム等の活用を検討する。同時に、現場・現地に集まり交流・研鑽する活動も新たな展開を検討する。

また、コロナ禍による学会活動への影響も考慮し、中期事業計画の中間見直しを行う。

8 日本学術会議との連携事業

日本学術会議の連携協力団体として、地域自治の発展につながるシンポジウムを日本学術会議と共催して開催する。

IV 運営

1 学会ガバナンスの確立

機能的・合理的・行動的でコンパクトな学会運営を行う。

安定的な学会活動のために、学会運営の諸課題への対応を図るとともに中期事業計画をもとに学会の効果的・効率的な運営を進める。また、各部会でデジタル化の活用

を含め、事業の見直しを行う。

2 事務局の運営

保管資料の整理等事務局体制の見直しを進める。総務部会は、事務局を補助する。

3 オンラインの活用

オンラインを活用した会議等を進める。